Panasonic®

保管用

保証書別添付

施工説明付き

取扱説明書

住宅用照明器具（シーリングライト）
オートエコ調光付ツインPa

品番 HHFZ4320

もくじ

上手に使って上手に節電

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」(2ページ)を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。

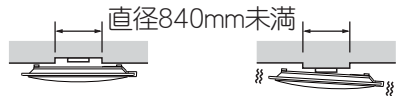
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠警告

禁止

■次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・平面部が直径840mm未満の場所（例：下図）

・凹凸のある場所（例：下図）

・補強のない薄い場所（ベニヤ板、石こうボードなど）

・傾斜した場所

●この器具は水平天井面取り付け専用です。

必ず守る

■交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

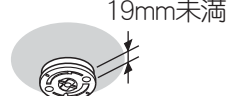
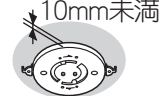
■異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

禁止

■次のような配線器具には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

・出しろの少ないもの

・シーリングハンガーが取り付けられたもの

・がたついたり、破損しているもの

・斜めに取り付けられたもの

・ケースウェイに取り付けられたもの

●販売店、工事店に配線器具の交換を依頼してください。（交換には資格が必要です。）

分解禁止

■器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

●1年に1回は「安全チェックシート」（保証書内在中）に基づき自主点検してください。

接触禁止

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない

やけどの原因となることがあります。

●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

●この器具は防湿、防雨型ではありません。

必ず守る

■付属の梱包材は取り除いて使用する

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

禁止

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

●器具の真下にストーブなどを置かないでください。

■他の調光器と組み合わせて使用しない

調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。

●販売店、工事店に調光器の取り外しを依頼してください。（取り外しには資格が必要です。）

使用上のご注意

- 点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が照明器具から発生することがありますが、異常ではありません。
- 電波の弱い場所（山間部、鉄筋建物内など）では、室内アンテナ使用のテレビやラジオに画像の乱れや雑音などが発生することがあります。
- 照明器具のきわめて近くでは、他の機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。
- 蛍光灯はランプに風が当たったり冬場など周囲の温度が低い場合には、明るくなるまでに時間がかかったり、点灯直後にちらつきや移動縞（ムービングストライエーション現象）が発生することがあります。ランプが温まりますと自然に収まりますのでご了承願います。
- 非常に短い停電が起こると点灯状態が意図せず切り替わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチ（壁スイッチがない場合はブレーカ）をOFFにしてください。
- 天井、壁、床の色や材質により、リモコンの操作距離が短くなることがあります。
- 周囲温度が低いと、点灯直後リモコンで切り替わりにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから操作してください。
- 低誘虫の効果は、蚊、ゴキブリなど、光に誘われない虫には効果がありません。また設置した器具の周囲の光環境によって誘虫効果に差が生じます。

- オートエコ調光機能を使う際に、場合によっては下記の現象が起こることがあります。

○お部屋の床やテーブルなどの色味が濃い場合に器具の真下で…
- 新聞紙や雑誌などを広げたとき
- 白いお皿を並べたとき
- 白い衣服で座ったとき

○近くにある他の照明を点灯させた場合
- 壁面のブラケットを点灯
- ダイニングの照明を点灯
- デスクスタンドを点灯

○その他の場合
- 器具の真下に長時間立ったとき
- 器具の真下に白い敷物を敷いたとき
- 明るさセンサに鏡の反射光が入ったとき

左記のような条件下では照明が暗くなる場合がありますが、異常ではありません。気になる場合は「全灯」又は「お好みの明るさ」ボタンを押してご使用ください。

オートエコ調光機能のしくみとはたらき

オートエコ調光とは、検知範囲（お部屋）の明るさを一定に保つように
外からの光に応じて自らの明るさを自動で変える機能です。

検知範囲に外光が入ると、余分な明るさ分を減光（省エネ）します。

検知範囲に外光がない場合は、設定した明るさ（１００%,７０%,５０%）で点灯します。

■オートエコ調光の動作イメージ

朝　昼　夜

明るさ

設定した明るさ

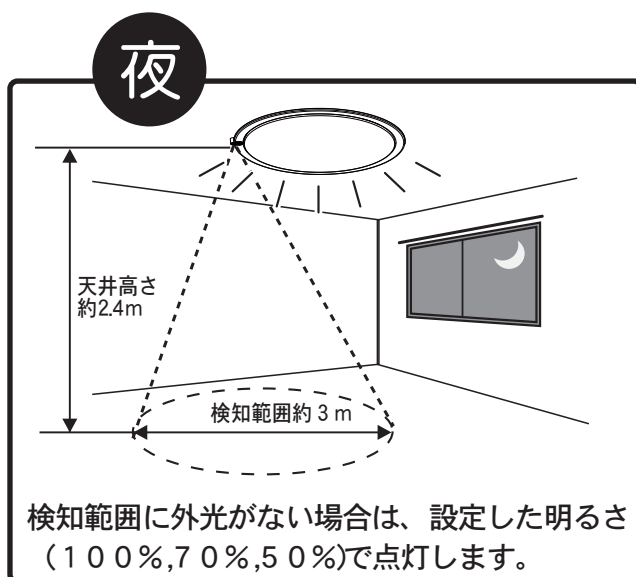
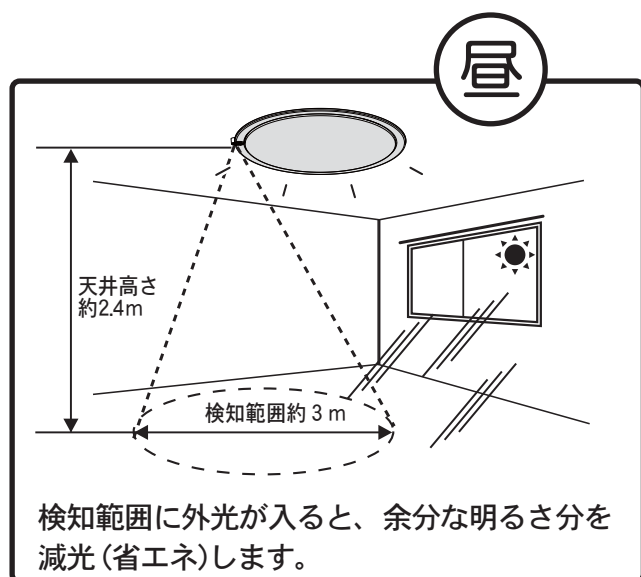
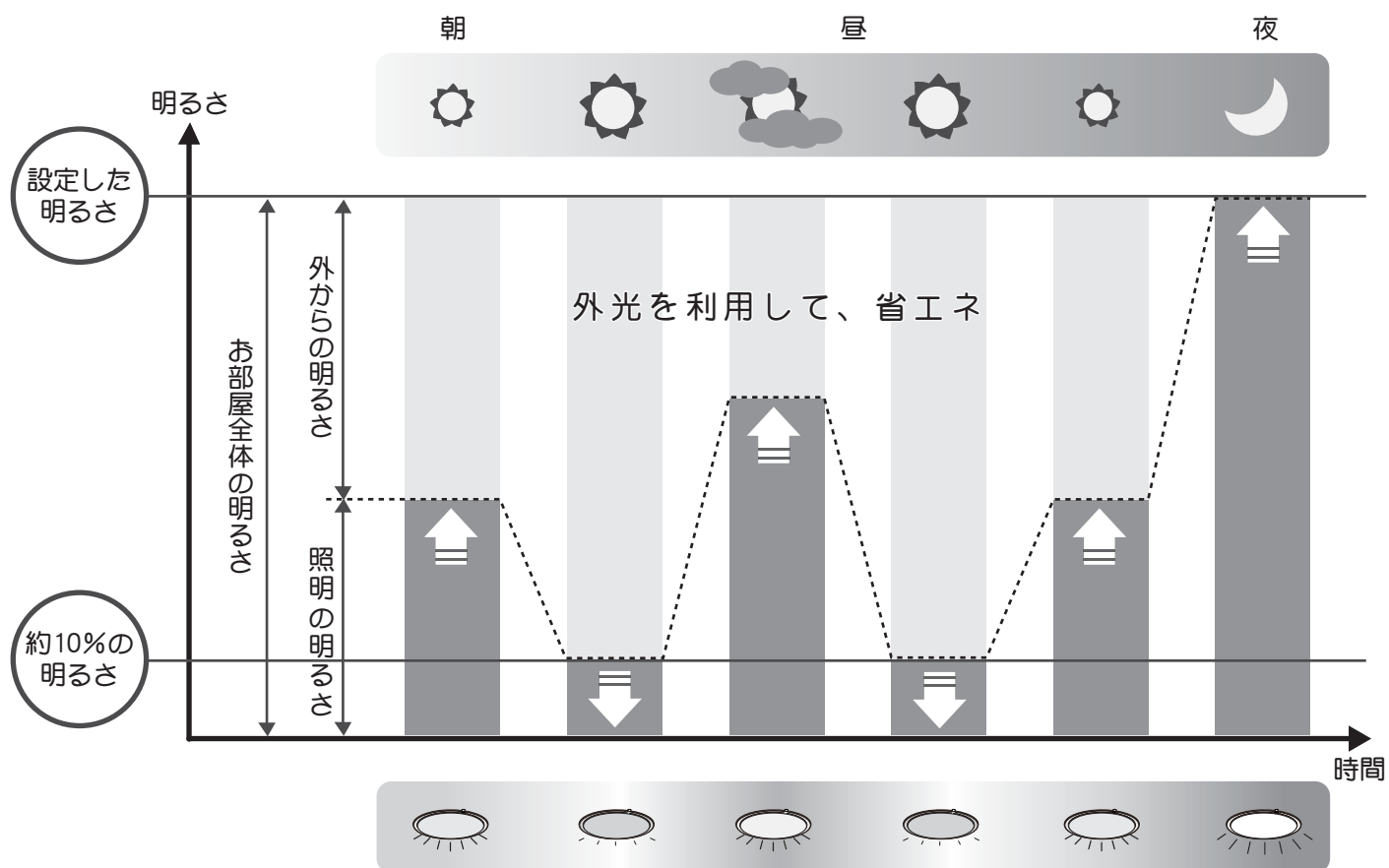
約10%の明るさ

お部屋全体の明るさ

外からの明るさ

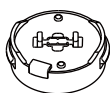
照明の明るさ

外光を利用して、省エネ

時間

付属部品の確認

施工する前にまず付属部品をご確認ください

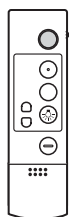
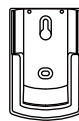
●本体取り付け用付属部品

□ アダプタ(1個)

補修品番
NZ2716M

●説明書

□ 取扱説明書
□ かんたんガイド

●リモコン付属部品

□ リモコン

□ リモコンボックス（1個）

□ 単3形乾電池（2本）

□ リモコンボックス用木ネジ(2本)

補修品番
HK9399MM

各部のなまえとはたらき

照明器具

配線器具（付属していません。）

アダプタ

ボタン

枠

ランプ口金

LED(常夜灯)

リモコン受信器（詳しくは 6ページ「リモコン受信器」参照）

本体（アース端子があります。）

明るさセンサ（詳しくは 6ページ「明るさセンサ」参照）

ソケット

ランプ（100形ツインパルック プレミア蛍光灯）

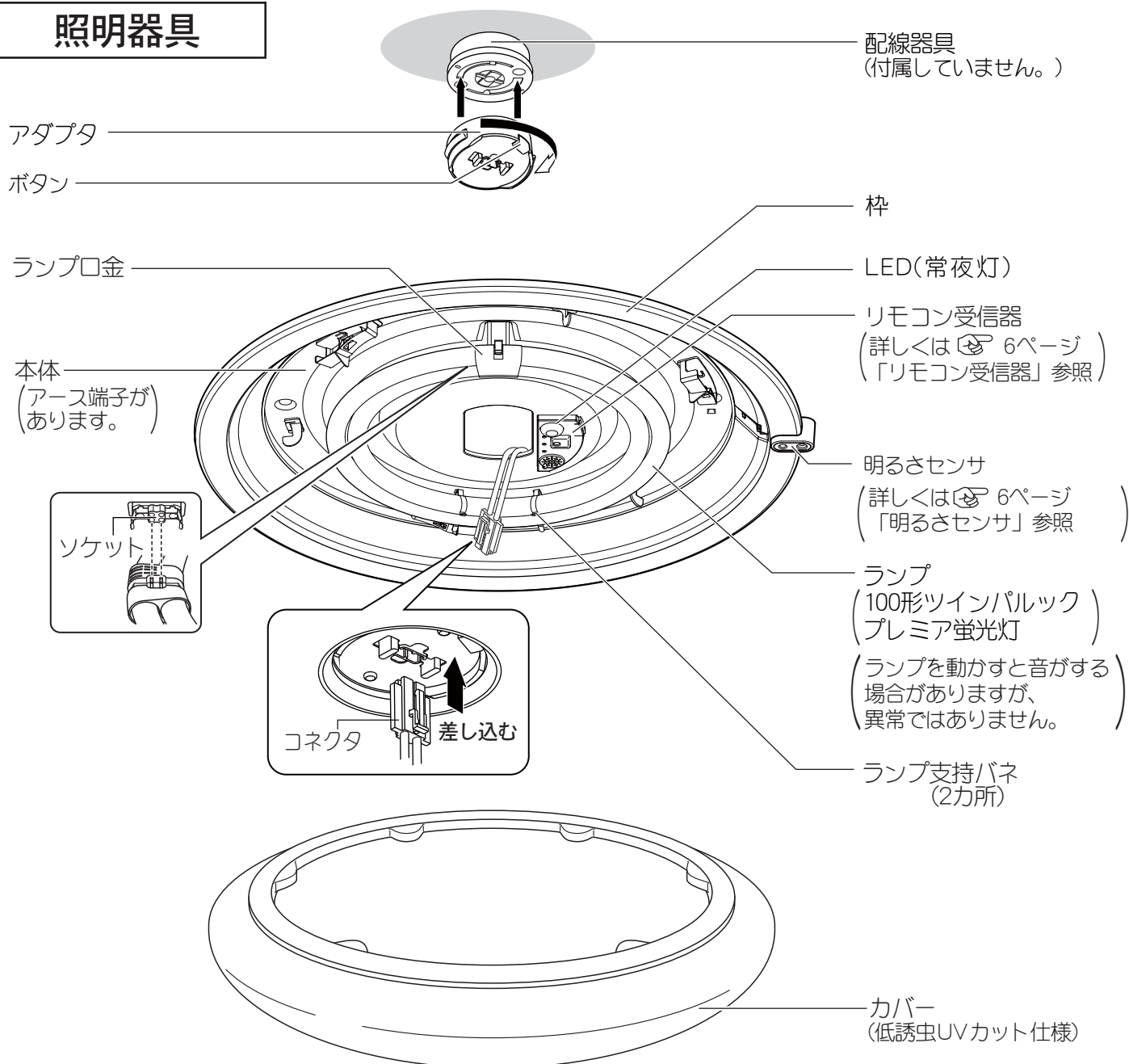
（ランプを動かすと音がする場合がありますが、異常ではありません。）

コネクタ

差し込む

ランプ支持バネ（2カ所）

カバー（低誘虫UVカット仕様）

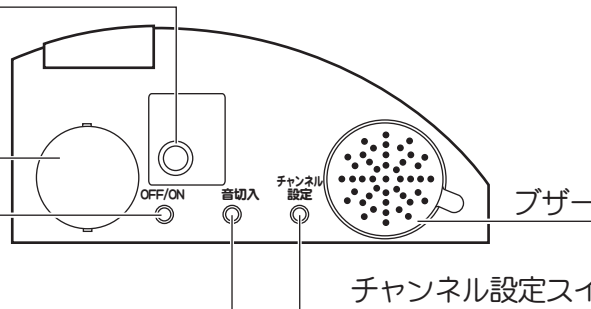
各部のなまえとはたらき

リモコン受信器

リモコン受信部
リモコンからの信号を受けます。
（傷つけたり、汚したりしないでください。）

ＬＥＤ（常夜灯）

ＯＦＦ／ＯＮスイッチ
押すごとに消灯/点灯します。

ブザー

音切入設定スイッチ
押すごとにリモコンで照明を操作時の音を切/入します。
無音で「切」、「ピッ」と音がして「入」。

チャンネル設定スイッチ
器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
（☞12ページ「複数のリモコン照明器具をそれぞれ操作する場合」参照）

リモコン

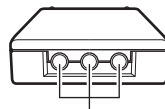
リモコン送信部
器具に信号を送ります。（必ず器具に向けてください。）

明/暗ボタン
蛍光灯、LEDの明るさが変わります。
　蛍光灯：100～約10％の明るさ
　LED（常夜灯）：6段階の明るさ

メモ
●「お好みの明るさボタン」、「LED（常夜灯）ボタン」を押した後、「明/暗ボタン」で明るさを変えた場合、その明るさを記憶します。
（☞11ページ「リモコンで照明器具を点灯・消灯する」参照）

環境設定と明るさ調整
スライドカバーを開けて、環境設定、明るさ調整を行います。

環境設定ボタン
お部屋の明るさ環境を設定します。
（☞9ページ「オートエコ調光機能の初期設定」参照）

明るさ調整ボタン
オートエコ調光機能使用時の明るさを3段階から調整します。
（☞10ページ「オートエコ調光機能をより省エネで使うには」参照）

チャンネルスイッチ
操作したい器具のチャンネル（1～3）に合わせて使います。
（お買い上げ時：チャンネル2）
（☞12ページ「複数のリモコン照明器具をそれぞれ操作する場合」参照）

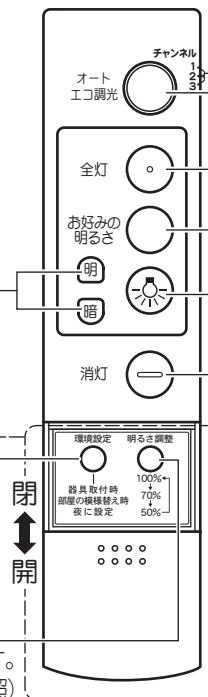
オートエコ調光ボタン
オートエコ調光機能を開始します。
（☞10ページ「オートエコ調光機能の使いかた」参照）

全灯ボタン
蛍光灯が100％の明るさで点灯します。**（注）**
（注）押したときの明るさを変えることもできます。
（☞11ページ「リモコンで照明器具を点灯・消灯する」参照）

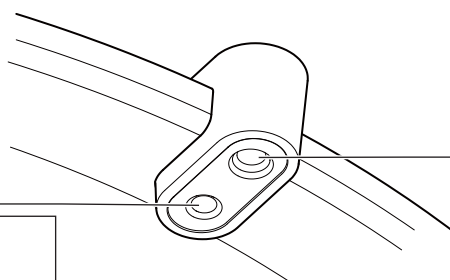
お好みの明るさボタン
明/暗ボタンで変えた明るさ（調光）で、蛍光灯が点灯します。
（お買い上げ時：約60％の明るさ）

LED（常夜灯）ボタン
明/暗ボタンで変えた明るさで、LED（常夜灯）が点灯します。
（お買い上げ時：100％の明るさ）
●このボタンは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

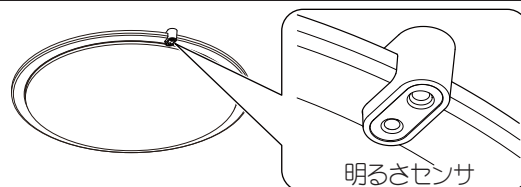
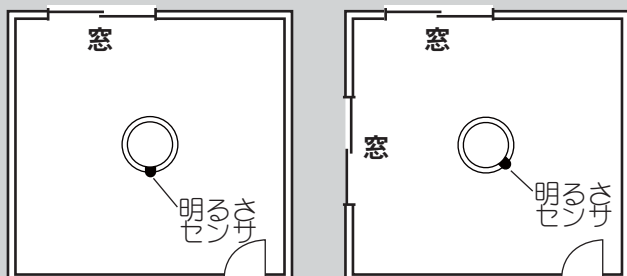
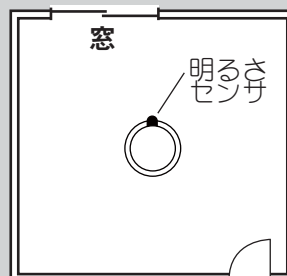
消灯ボタン
消灯します。

明るさセンサ

明るさセンサ
周囲の明るさを検知します。

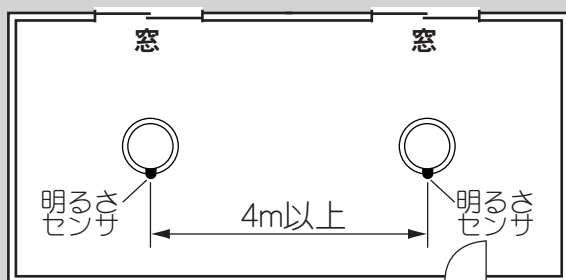
表示ランプ（緑色）

状態	内容
点 灯	オートエコ調光ＯＮ 環境設定時
点 滅	オートエコ調光ＯＮ・明るさ変化中
消 灯	オートエコ調光ＯＦＦ

取り付け前の確認

明るさセンサの方向

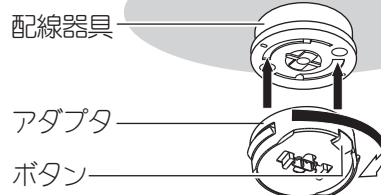
明るさセンサの位置を窓から離したところに
くるように取り付けてください。

良い例 ○

悪い例 ✕

注意 窓の外の光を直接検知すると、設定よりも暗くなるおそれがあります。

同一部屋内での複数灯設置の制約条件

2台設置時は明るさセンサを4m以上離す

照明器具を取り付ける

安全のため、電源を切ってから行ってください

1 配線器具に
アダプタを右に回して取り付ける

確認 取り付け後、ボタンを押さずに左へ
回して外れないことを確認する。

2 本体を押し上げて取り付ける

●取り付けの際、ランプを持たないでください。

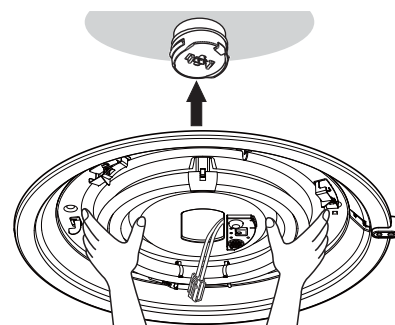
⚠注意	ランプ、明るさセンサや枠を持って器具を持ち上げない けがや器具の破損のおそれがあります。 ※必ず本体を持ってください。

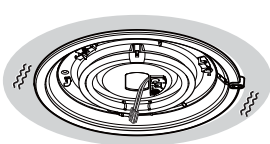
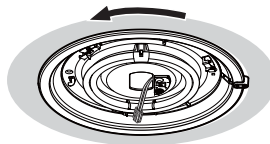
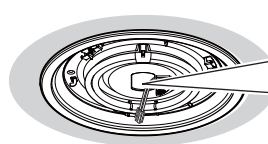
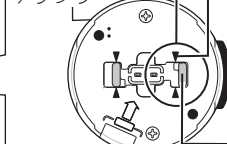
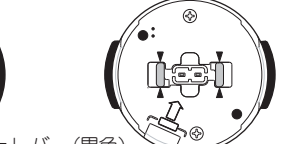
●取り付け後、本体ががたついたり、容易に回転したりしないか確認する。

●本体取り付け後、ランプ（蛍光灯）がソケットから浮いていないか確認する。
➡ 浮いている場合は、ソケットにランプ口金を確実に差し込む。

（次ページにつづく）

照明器具を取り付ける（つづき）

安全のため、電源を切ってから行ってください

3 取り付け時の確認を行う

●本体が下記の状態の場合は、正しく取り付けられていません。

・本体がグラグラする

・本体が簡単に回転する

・アダプタのレバーが正しい位置にきていない

コネクタは接続できません（本体が正しく取り付けられていません）

コネクタは接続できます

●アダプタの本体取り付け位置

下図配線器具の場合

丸型フル引掛シーリング　角型引掛シーリング

丸型引掛シーリング　フル引掛ローゼット

2段目まで押し上げる

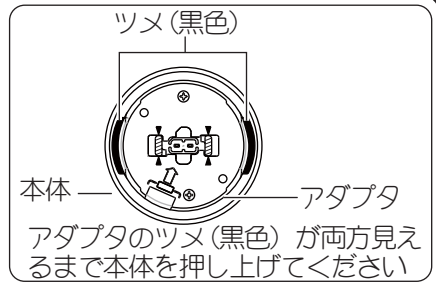
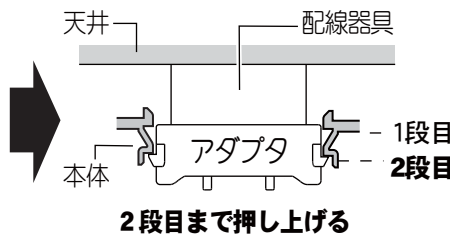
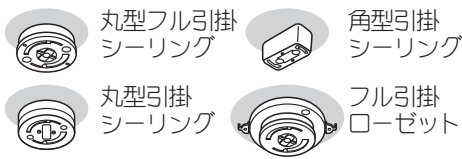
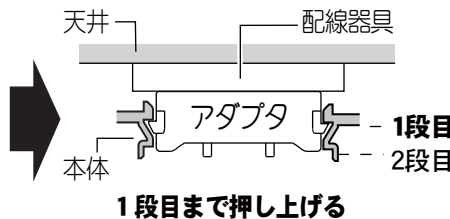
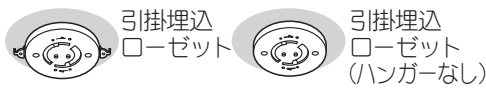
アダプタのツメ（黒色）が両方見えるまで本体を押し上げてください

●アダプタの本体取り付け位置

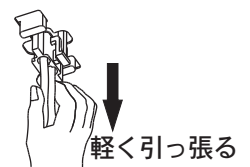
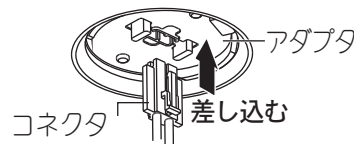
下図配線器具の場合

引掛埋込ローゼット

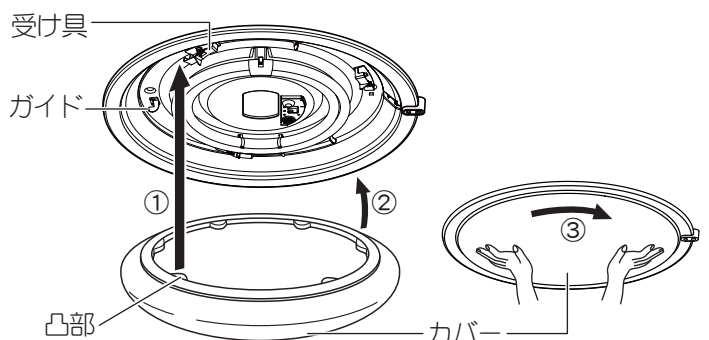
引掛埋込ローゼット（ハンガーなし）

1段目まで押し上げる

4 コネクタをアダプタへ差し込む

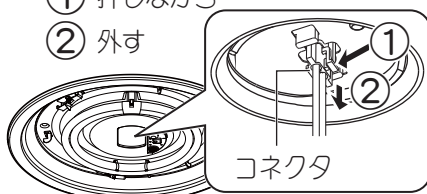
コネクタが抜ける場合は照明器具をさらに押し上げる。

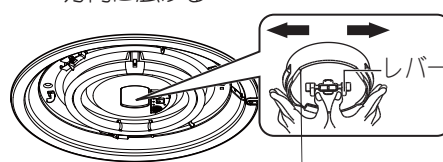
⚠警告	落下してけがのおそれあり コネクタを引っ張って抜けないことを確認する。

5 カバーを取り付ける

① カバーの凸部を本体の受け具とガイドの間に合わせる
② カバーを持ち上げる
③ カバーを止まるまで右に回す

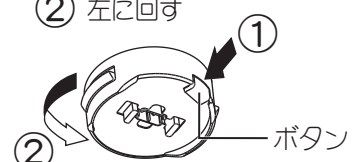
⚠注意	カバーは確実に取り付けてください 落下してけがのおそれがあります。

本体、アダプタの外しかた

1 コネクタを外す

① 押しながら
② 外す

2 本体を外す

本体を支えながらレバーを矢印の方向に広げる

3 アダプタを外す

① ボタンを押しながら
② 左に回す

オートエコ調光機能の初期設定　初めてお使いになるときは必ず行ってください

環　境　設　定

オートエコ調光機能を使うために、お部屋の明るさ環境を設定する必要があります。
下記の設定方法に従って、設定を行ってください。

設定方法

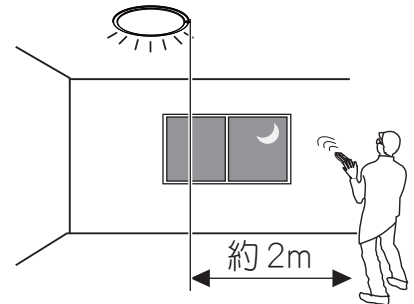
設定は、下記内容にそって行わないと正常に動作しません。

●設定は必ず夜間に行ってください。
（昼間に「環境設定」ボタンを押すと、正常に設定できません。）

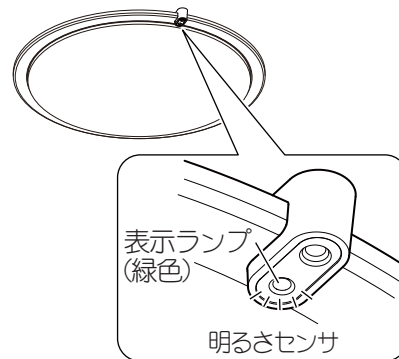
●照明器具から約２ｍはなれて、設定してください。
（器具の近くに人がいると、正常に設定できません。）

●近くに他の照明がある場合は、消してください。
（他の照明の光に反応して、正常な設定が出来ない場合があります。）

メモ

設定する前に、「全灯」又は「お好みの明るさ」ボタンを押して
1～2時間ほど器具点灯させると、より正確な設定を行うことが
できます。

① リモコンの「全灯」ボタンを押す
➡ 照明器具が100％で点灯

② リモコンのスライドカバーを開ける

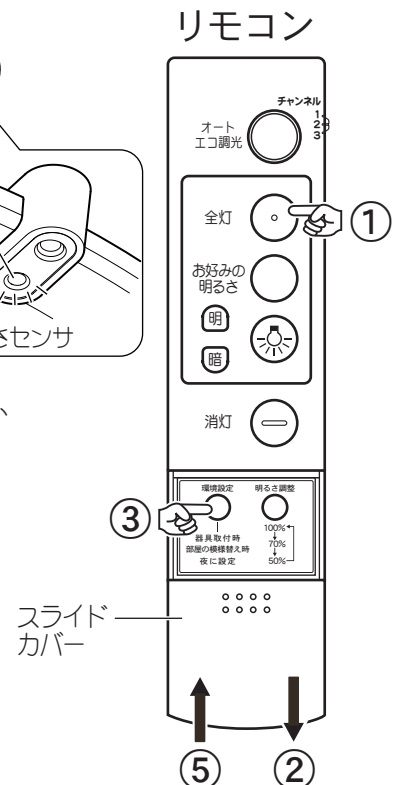
③ リモコンの「環境設定」ボタンを押す
➡「ピッ」と音が鳴り設定開始
・明るさセンサの表示ランプ（緑色）が点灯

注意
・「オートエコ調光」がONのとき、「LED(常夜灯)」が点灯しているとき、
「消灯」のときは、「ピピッ」と音が鳴り、設定できません。
・環境設定中はリモコン操作はできません。
・環境設定中に壁スイッチをOFFにすると設定はできません。

④ 約15～20秒後に「ピピーッ」と音がして設定完了
・明るさセンサの表示ランプ（緑色）が消灯

⑤ スライドカバーを閉じる

メモ

一度環境設定すると、電源を切っても記憶しています。

表示ランプ(緑色)
明るさセンサ
リモコン
スライドカバー

お願い

下記の場合には再度、環境設定を行う必要があります。

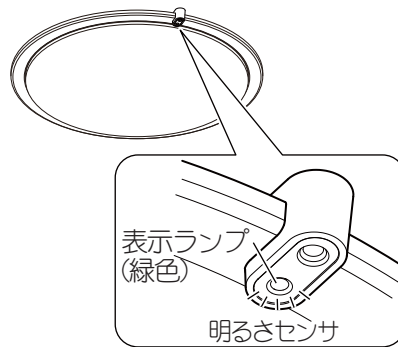
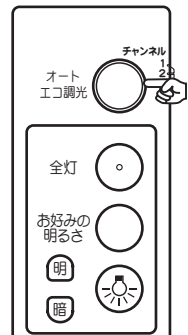
・テーブルやソファなどの家具の配置を替えたとき
・じゅうたんやカーテンなどの部屋の模様替えを行ったとき
・ランプ交換を行ったとき

オートエコ調光機能の使いかた

■ オートエコ調光をONにする

リモコンの「オートエコ調光」ボタンを押す

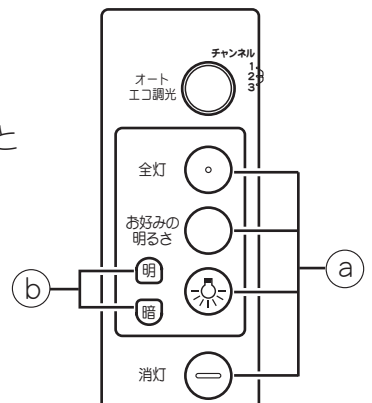
➡明るさセンサの表示ランプ（緑色）が点灯

メモ　消灯状態で「オートエコ調光」ボタンを押すと器具が点灯してオートエコ調光がONになります。

■ オートエコ調光をOFFにする

下記の ⓐ～ⓒ のいずれかの操作でオートエコ調光をOFFできます。

ⓐ「全灯」,「お好みの明るさ」,「LED(常夜灯)」,「消灯」のいずれかのボタンを押すとオートエコ調光をOFFし、押したボタンに応じた点灯状態に切り替わります。

ⓑ「明」,「暗」ボタンを押すと、オートエコ調光をOFFし、蛍光灯の明るさが変わります。

ⓒ 壁スイッチを素早く(約２秒以内)OFF→ONすると、オートエコ調光をOFFし、LED(常夜灯)が点灯します。（☞ 11ページ「壁スイッチで操作する」参照）

オートエコ調光機能をより省エネで使うには

■ 明るさ調整

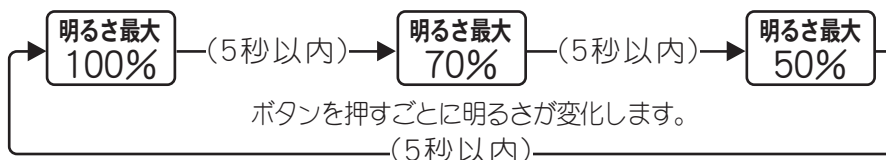
オートエコ調光機能時の最大の明るさを100%・70%・50%に調整できます。

設定方法（一連の操作を、あらかじめお読みになってから行ってください。）

① オートエコ調光がONであることを確認する
（OFFの場合は、リモコンの「オートエコ調光」ボタンを押してください。）

② リモコンのスライドカバーを開ける

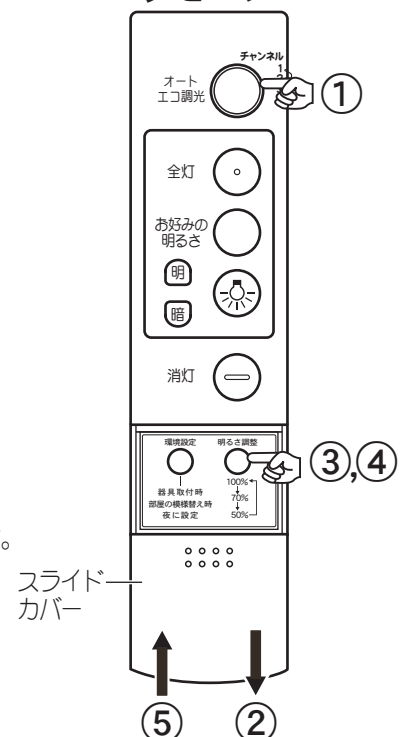
③ リモコンの「明るさ調整」ボタンを1回押す
➡「ピッ」と音が鳴り、
現在設定されている明るさ（下記の3段階のいずれか）になる

④ **5秒以内**に再度「明るさ調整」ボタンを押して下記の中から選択する

明るさが決まりましたら(5秒後に)自動的にオートエコ調光機能がスタートします。
オートエコ調光使用時は、設定した最大の明るさと最小の明るさ(約10%)の間で明るさを自動調光します。

メモ
・50%を選択すると蛍光灯は最大で50%点灯となり、より省エネ効果が得られます。
・お買上げ時の設定は最大の明るさ100%になっています。

⑤ スライドカバーを閉じる

メモ　オートエコ調光はON状態です。
OFFする場合は、☞ 上記「オートエコ調光をOFFする」をご参照ください。

リモコン　オート エコ調光 ①　全灯　お好みの明るさ　明　暗　消灯　環境設定　明るさ調整 ③,④　スライドカバー　⑤　②

リモコンで照明器具を点灯・消灯する

■ 全灯させる

「全灯」ボタンを押す。

蛍光灯100%の明るさになります。

■ お好みの明るさで点灯させる

「お好みの明るさ」ボタンを押す。

明 暗

「明／暗」ボタンで明るさを調節する。
（蛍光灯100〜約10%）

◎以後、再び上記の操作を行うまで、
　前回に調整したときの明るさで点灯します。

■ LED（常夜灯）を点灯させる

「LED（常夜灯）」ボタンを押す。

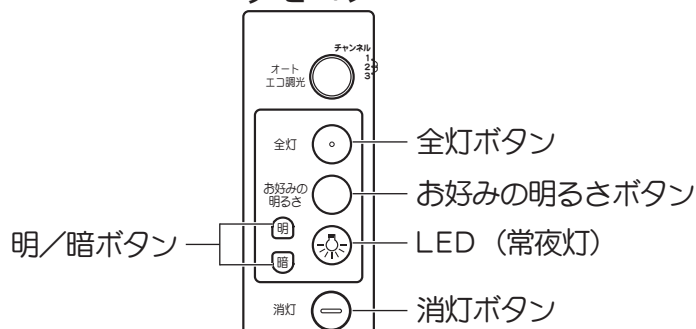
明 暗

「明／暗」ボタンで明るさを調節する。
（LED6段階）

◎以後、再び上記の操作を行うまで、
　前回に調整したときの明るさで点灯します。

■ 消灯させる

「消灯」ボタンを押す。

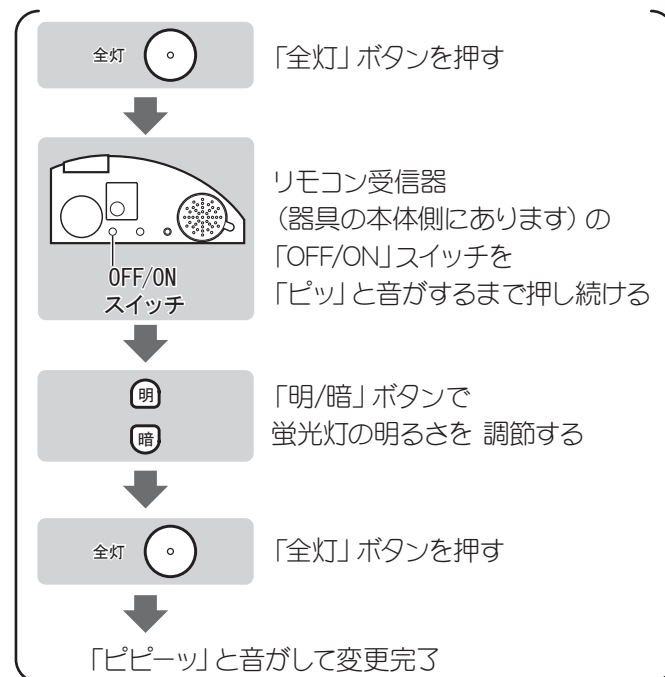
注意　蛍光灯とＬＥＤ（常夜灯）は同時に点灯できません。

◎「全灯」ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを
　100〜約10%の範囲で設定することができます。

「全灯」ボタンを押す

リモコン受信器
（器具の本体側にあります）の
「OFF/ON」スイッチを
「ピッ」と音がするまで押し続ける

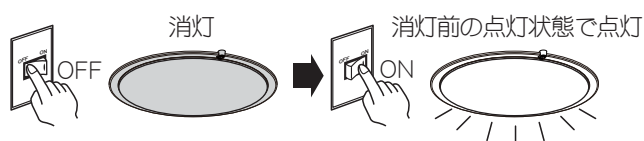
「明/暗」ボタンで
蛍光灯の明るさを 調節する

「全灯」ボタンを押す

「ピピーッ」と音がして変更完了

確認　点灯しない場合、照明器具とリモコンの
チャンネル設定を確認する。
☞ 12ページ
「複数のリモコン照明器具をそれぞれ操作する場合」参照

壁スイッチで操作する

消灯する・点灯する

●壁スイッチをONすると、消灯前の点灯状態で点灯します。
　「お好みの明るさ」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは
　「お好みの明るさ」で点灯、
　「LED(常夜灯)」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは
　「LED(常夜灯)」で点灯、
　「オートエコ調光」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは
　「オートエコ調光」で点灯します。

メモ
●壁スイッチをONしても点灯しない場合は、　壁スイッチを素早く（約2秒以内）OFF→ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。

点灯状態を切り替える

●壁スイッチを素早く（約2秒以内）
　OFF→ONすると、点灯状態が
　切り替わります。
　但し、オートエコ調光には
　切り替えできません。

メモ
●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさと
　なります。
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。
　点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
●リモコンで消灯した場合、壁スイッチがONのままだと
　待機電力（1W以下）を消費しています。長時間使わないとき
　には節電のため壁スイッチをOFFにしてください。
●オートエコ調光点灯時はLEDに切り替わります。

複数のリモコン照明器具をそれぞれ操作する場合

リモコン受信器のチャンネルを変更する

① リモコン受信器のチャンネル設定スイッチを押す

② リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる（例：チャンネル 1）

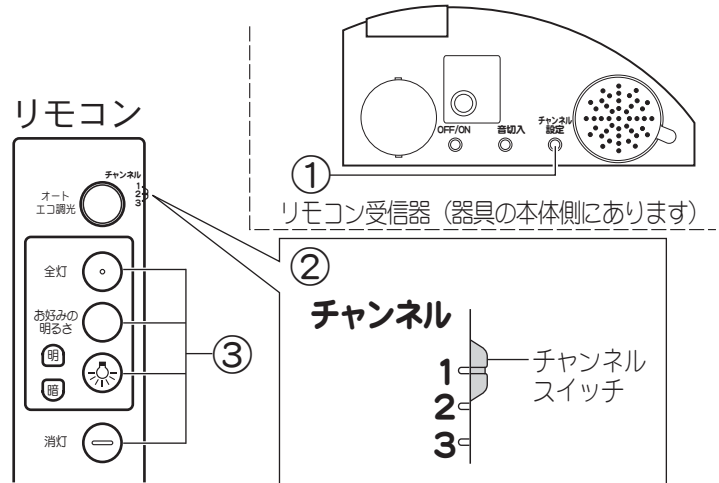
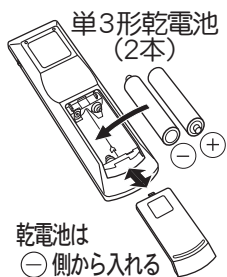
③ リモコンのいずれかのボタンを押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了

（メモ）

- ●2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。
- ●オートエコ調光付器具とその他の器具は、必ずチャンネルを変えてください。

電池交換について

単3形乾電池（2本）

乾電池は ⊖ 側から入れる

電池交換時期の目安

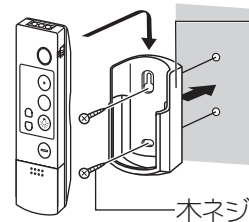
・乾電池は半年を目安に交換してください。

⚠注意	・指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない。 ・極性表示の通り ⊕ ⊖ を正しく入れる。 ・使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。 電池の破裂や液もれの原因となることがあります。

リモコンボックスについて

リモコンボックス
紛失防止用に壁掛け収納できます。

●リモコンは必ず器具に向けて操作してください。

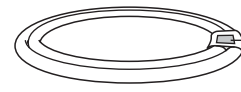
木ネジ

別売のリモコンについて

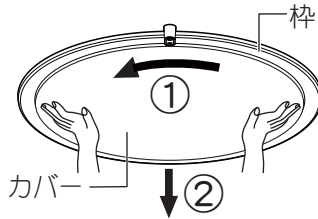
付属のリモコンの他に、下記のリモコンで操作ができます。（オートエコ調光機能は使えません）

HK9392K	●タイマーの機能があります。 ●蛍光灯、LED(常夜灯)の明るさを変えることができます。 ●蛍光灯、LED(常夜灯)をダイレクトに切り替えることができます。
HK9327K	●蛍光灯、LED(常夜灯)の明るさを変えることができます。 ●蛍光灯、LED(常夜灯)をダイレクトに切り替えることができます。

ランプを交換する

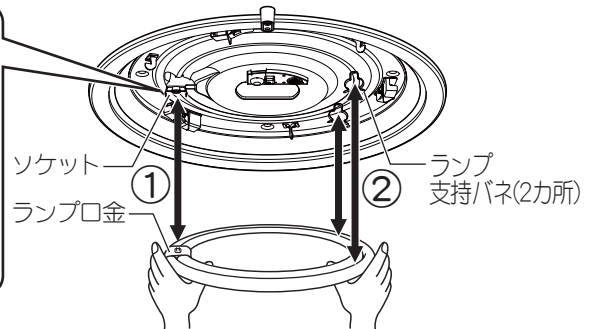
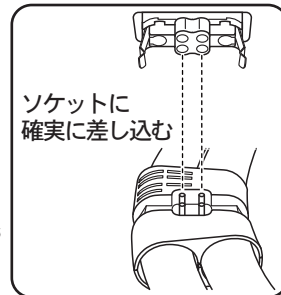
電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●ランプの明るさが低下したり、消灯や点滅を繰り返すとランプの寿命です。
　パナソニック製ツインパルックプレミア蛍光灯をお買い求めください。
●種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。

1 カバーを取り外す

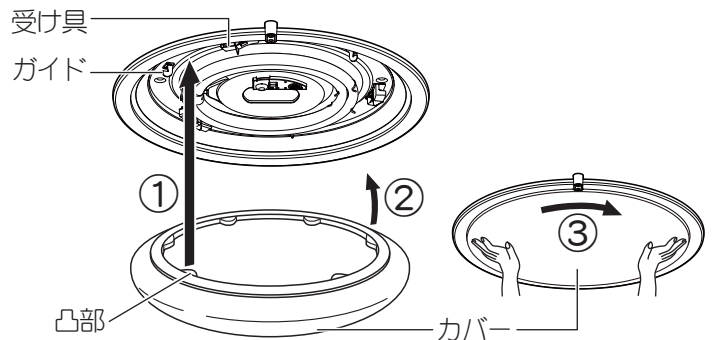
① カバーを止まるまで左に回す
② カバーを外す

⚠警告　枠は本体側に付いていますので、枠を持って回さないでください。本体落下によるけがの原因となります。

2 ランプを交換する

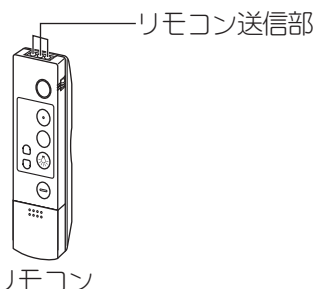
●取り外す
① ランプ口金側を外す
② ランプ支持バネ側を外す

●取り付ける
① ランプ口金をソケットに差し込む
② ランプ支持バネで固定する

3 カバーを取り付ける

① カバーの凸部を本体の受け具とガイドの間に合わせる
② カバーを持ち上げる
③ カバーを止まるまで右に回す

⚠注意　カバーは確実に取り付けてください
落下してけがのおそれがあります。

お手入れについて

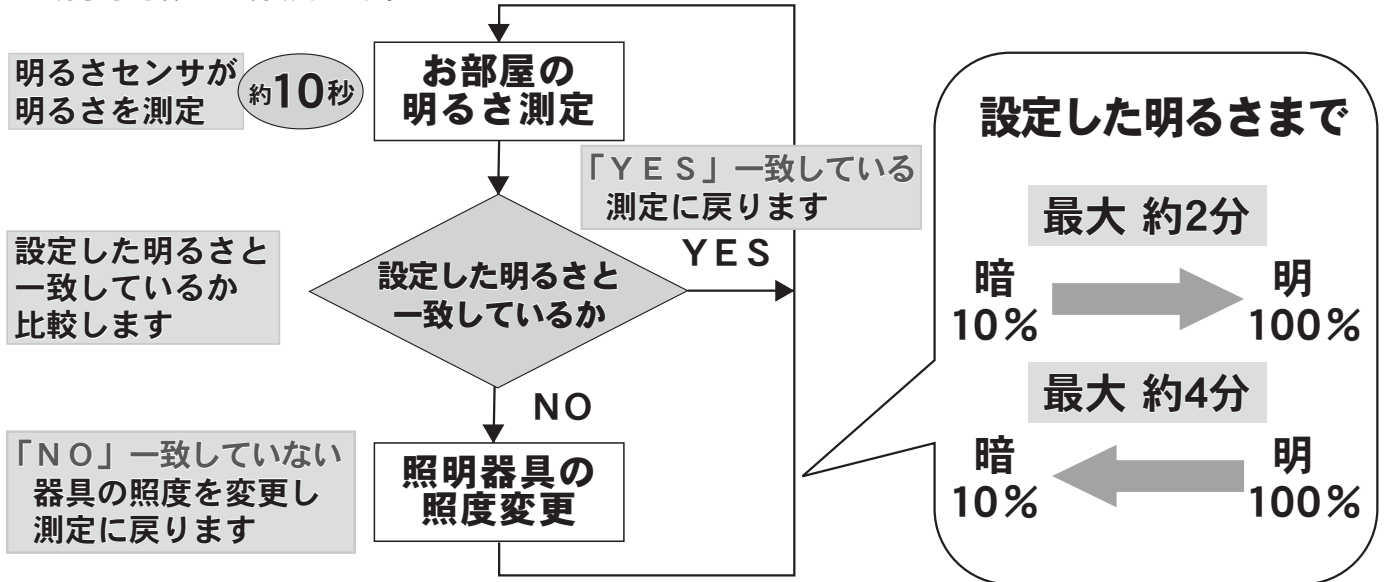
電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
　ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。

●電池は半年を目安に取り替えてください。
　※付属の電池は、保管状況により性能が落ちることがあります。

オートエコ調光の動作について

Q1

明るさセンサはどんな動作をするの？

●約10秒間お部屋の明るさを測定し、明るさを変更するか、
明るさを保つか判断します。

Q2

検知範囲内でテレビをつけた場合はどうなるの？

●影響はほとんどありません。

➡気になる場合はオートエコ調光をOFFにしてご使用ください。

☞ 10ページ 「オートエコ調光の使いかた」オートエコ調光をOFFにする 参照

Q3

明るさセンサが汚れたらどうなるの？

●明るさセンサが検知しにくくなるため、省エネ効果が得られにくくなります。

➡汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

Q4

センサにカメラのフラッシュが入ったらどうなるの？

●瞬間的な明るさ変化のためオートエコ調光機能には影響しません。

Q5

天井高さに制限はないの？

●標準天井高さ2.4ｍ～3ｍまでを目安にご使用ください。
天井が低いと検知範囲が狭くなり、天井が高いと検知範囲は広くなります。
例えば全く同じ条件のお部屋で動作比較すると、検知範囲の広い方がより明るさセンサに入る光の量が多いため減光しやすくなります。

設定について

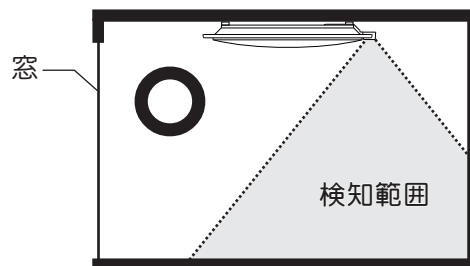
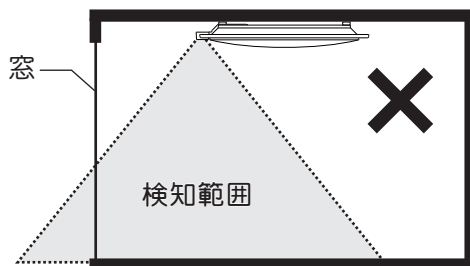
Q1

なぜ環境設定を行う必要があるの？

●お部屋の明るさは家具の色や配置でも変わります。
白いじゅうたんに白いテーブルクロスを敷いたお部屋と、黒いじゅうたんに黒いテーブルクロスを敷いたお部屋では、センサが検出する明るさに差が出てきます。
「環境設定」は、そのお部屋の基本となる明るさを測定し、適切にオートエコ調光するために必要な設定です。

Q2

なぜ明るさセンサを窓から離す必要があるの？

●検知範囲が直径約3m(天井高さ約2.4mの場合)あるため、窓側にセンサを設置したとき窓の外の明るさを検出してしまい、お部屋の明るさを正確に判定できないことがあります。
このため、窓の反対側に設置していただくことを推奨します。

Q3

外光がある状態で環境設定するとどうなるの？

●外からの光が入った状態で環境設定を行うと、お部屋の環境が明るいと誤測定をしてしまいます。
その誤った明るい状態が基準となるため、それ以上のより明るい光が入らないと減光動作を行わず省エネ効果が得られなくなります。

Q4

環境設定をしないで使うとダメなの？

●環境設定を行わずに、オートエコ調光動作を行った場合、工場出荷状態での環境設定となります。
（工場出荷時の環境設定：一般的なリビングを想定した環境で設定しています。天井高さ2.4m、茶色のフローリング、茶色の低いテーブル、ベージュのカーテン）
そのため少しでも環境が異なりますと、省エネ効果が少なくなったり全く得られないというような場合が生じることがありますので、環境設定を行ったうえで、オートエコ調光機能を使用してください。

Q5

なぜ1～2時間点灯させてから環境設定した方がいいの？

●ツインPaのランプは点灯直後は明るさが不安定です。
1～2時間お待ちいただくことにより、明るさが安定した状態で環境設定することができます。

Q6

同じ部屋に他の照明（例：ダウンライト）がある時はどうやって設定するの？

●基本的には消灯して環境設定を行っていただく方が省エネ効果が得られます。但し、他の照明を常時点灯させている場合は、点灯した状態で環境設定を行ってください。

故障かな？と思ったら　下表に従って点検してください

現象	考えられる原因	処置
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	コネクタを一度抜き、本体を押し上げてからコネクタを再度、差し込む（☞8ページ「照明器具を取り付ける」手順4参照）
	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットに差し込む（☞13ページ「ランプを交換する」手順2参照）
	ランプが切れている	ランプを交換する（☞13ページ「ランプを交換する」参照）
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにするまたは、壁スイッチを素早くOFF→ONにする（☞11ページ「壁スイッチで操作する」参照）
リモコンで操作できない（オートエコ調光機能のON/OFFができない）	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルスイッチを変更して操作する（☞12ページ「複数のリモコン照明器具をそれぞれ操作する場合」参照）
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる（☞12ページ「電池交換について」参照）
	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換し正しく入れる（☞12ページ「電池交換について」参照）
環境設定ができない	オートエコ調光機能がＯＮになっている	「全灯」ボタンを押してから環境設定を行う（☞9ページ「オートエコ調光機能の初期設定」参照）
	「LED（常夜灯）」又は「消灯」になっている	「全灯」ボタンを押してから環境設定を行う（☞9ページ「オートエコ調光機能の初期設定」参照）
オートエコ調光機能時の最大の明るさを変えられない	オートエコ調光機能がＯＦＦになっている	「オートエコ調光」ボタンを押してから明るさ調整を行う（☞10ページ「オートエコ調光機能をより省エネで使うには」参照）

左記の処置を行っても現象が続く場合

電源をいったん切り再度入れる（約20秒以上切ってください）
●電源をいったん切ると、チャンネル設定が変わる場合があります。その際は設定し直してください。
☞12ページ「複数のリモコン照明器具をそれぞれ操作する場合」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

仕様　付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
AC100V	50/60Hz共用	89W（リモコンOFF時、1W以下）	100形ツインパルックプレミア蛍光灯

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…
●修理は、「修理ご相談センター」へ！
●その他は、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）
保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
但し、安定器については3年間です。（ランプなどの消耗品は除きます。）
※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

■ 補修用性能部品の保有期間　6年
この照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打切り後最低6年間保有しています。
注）補修用性能部品とは、機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

ご連絡いただきたい内容
①製品名　②品番　③お買い上げ日　④異常の状況（できるだけ具体的に）

●保証期間中は、お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店までご持参ください。販売店が修理させていただきます。

●保証期間を過ぎているときは、修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

●修理料金は次の内容で構成されています。
技術料　診断・修理・調整・点検などの費用です。
部品代　修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料　ご依頼により技術者を派遣する費用です。

パナソニック電工株式会社　インテリア照明事業部
〒571-8686 大阪府門真市門真1048